

特別企画

『賀川豊彦と吉野作造』パネル展

日時 2015年 9月28日(月)～10月9日(金)
10:00～15:00 ※但し10月3日(土)は休み

場所 ヒューマンわーくぴあ徳島5F大ホール
[徳島市昭和町3丁目35-1]

入場
無料

吉野作造と賀川豊彦

吉野作造が生きた明治・大正・昭和の時代は、日本が近代化に向けて邁進する時代でした。その一方で、救済制度の整わない未成熟な社会設計のまま資本主義が急速に進行し、抜け出しがたい貧困状態に追いやられる人が増加しました。

この問題は、東京を中心とする都市化の進行と急速な人口流入、第一次世界大戦後の度重なる経済恐慌、関東大震災などを経て、より深刻さを増し、なんらかの解決が待たれるようになりました。特に関東大震災では、故郷を離れて東京に働き口を求めて集まってきた人々の多くが罹災し、彼らの住環境や就業機会を再建することは喫緊の課題となりました。

こうした時代に吉野作造と賀川豊彦は、キリスト者としての博愛精神に基づき、人々が互いに協力して生活を守っていく社会を実現しようと様々な活動に取り組みました。2人の活動は、今日でもなお必要とされる相互扶助の精神として、また具体的な社会インフラとして、現代まで受け継がれています。

(賀川豊彦記念松沢資料館『賀川豊彦と吉野作造』移動展より)



●徳島県労働福祉会館は、公益目的事業として「社会運動資料センター事業」を昨年度よりスタートさせました。●社会運動はその性格上、一定の役割を果たすと運動母体が消散し、運動に関わる様々な資料は散逸するものも数多くあります。●社会運動資料センターではこうした貴重な文献資料を集積し、広く県民の皆様へ閲覧開放しております。また公開講座や企画展の開催も行っております。

お問 合せ

一般社団法人徳島県労働福祉会館 とくしま社会運動資料センター事務局
〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1
TEL 088-602-0532 / FAX 088-625-5005
メール roukan@workpia-tokushima.jp URL <http://workpia-tokushima.jp>